

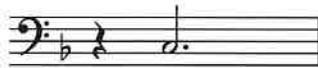

# 『宇宙飛行と青い星』 寸評

- ・ダイナミックな曲調と楽器編成がうまくマッチ
- ・m.1-2 意外なチューバの属音からいきなりへ長調が始まる
- ・各楽器にみせばをあたえてある ex. m.1-3 一小節ずつ楽器がふえていく
- ・形式感をそなえた展開をみせ、きいた満足感がある
- ・タイトルもわかりやすくすなおでよい

## 完成度をさらに上げるために

- ・B♭トランペットは長二度上のト長調へと移調して記譜します
- ・アーティキュレーションをていねいにつけてあげるとより楽想が明瞭になり奏者も演奏しやすくなる ex. m.1 B♭ Tp.I



- ・全体をさらに効果的にするディナーミクも工夫しよう
- ・m.4, 11 チューバよりトロンボーンが低い音なので両パートをいれかえたほうがよい
- ・m.11 トロンボーンパートを  と改変しチューバに演奏させてm.1と同様の効果をねらってもおもしろそう
- ・m.9 Tp.I の記譜 
- ・m.13-14 たとえばチューバを次のように歩かせてみる



m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

たいへんよくできました。

持麿 勉